

# 「こころのよごれ」

令和五年十一月二十四日 加茂法話会

三毒（毒のように私たちの心を蝕み、清らかな心を失わせる原因となる  
三つの心の動き・煩惱）

・貪・・・むさぼりの心（欲しいものなどに対して、執着する心）

・瞋・・・瞋恚の心（怒ること、腹を立てること）

・痴・・・愚かな心（無知からくる愚かな行動）

「懺悔文」（自分を省みる言葉）

我昔所造諸悪業（われ昔より造れる諸々の悪業は）

皆由無始貪瞋癡（みな無始の貪瞋癡に由りて）

従身口意之所生（身と口と意より生じるものなり）

一切我今皆懺悔（一切われ今懺悔したてまつる）

心の汚れは目で見えないので、気がつくのは難しい。ですから、よく自分を見つめて、心を正していくことが大切です。

「涙」

「こんな小さいのに 一生懸命生きている と思うと・・・いじらしい」

生まれて間もない 我が子を胸に 娘はそう言って泣いた

清らかな 美しい涙だった そして私も泣いた

（産経新聞 平成二十一年三月三十日）

このような体験をするのは中々ありません。しかし、感動する体験を得て、自分の心を清めたり、美しいものを見て、心の汚れを洗い流したりすることが、心を清める方法の一つといえるでしょう。